

いつもありがとうございます。

W42 青果発注書をお送り致しました。

御注文のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

尚、42 週 月曜日は出荷がお休みとなります。

今年は、

W45=11 月 3 日 月曜日

W48=11 月 24 日 月曜日 も出荷お休みです。

この国も働かなくなりますね。

・ブランド産地のれんこんは一味違う！ 石川県 特別栽培 加賀美人れんこん

(有安海)





商品価値が価格を重視していないのであれば、
誰が、どこで、何に重要視して栽培しているのかは、
販売する上では、非常に重要な要素を占めているように思います。

見た目や価格を重要視しては、確かに一時の売上にはなろうかと思いますが、
遠い目で見てしまえば、リピートに繋がるかどうかポイントになるため、
見た目や価格よりも、味やお客さんの購買動機に繋がるポイントを抑えるほうが、
競合対策にもなり
売上 UP や粗利額 UP に繋がることは確実と考えています。

このれんこんは、その見た目や価格での価値はありませんが、
ブランド産地、栽培内容にはとても分かりやすい価値を持っているれんこんなんです。

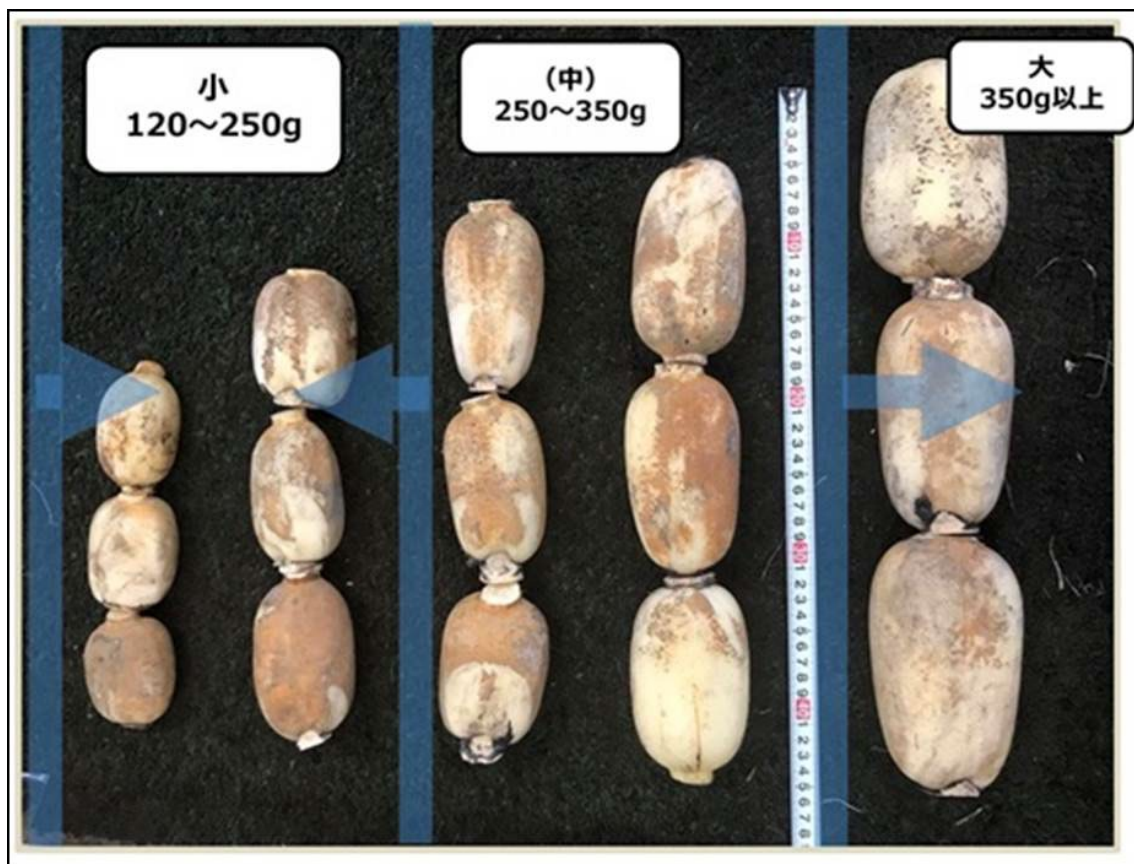
まずは産地ですが、言わずもがな

れんこんの一大産地である加賀地域、河北潟での栽培しており、
栽培新種としては、『志那白花』という品種になり、割と太く節と節の間隔が短く、
れんこんには大事な、でんぷん質が高くもちり粘り気が強いことが特徴になっています。

アルファーが取り扱っている規格、節 350gUP の規格は

下記の画像を見て頂けるとわかりますが、

迫力満点で売り場に盛れば、お客さんの目を引くことは間違いないです！



栽培に関してもやはり強いこだわりを持っており、『循環型環境農法』としている、
土づくりから始まる持続可能な社会づくりに貢献するため、
自然環境・企業・お客様すべてに
良い循環を生み出す、独自の環境農法にと陸あれています。

その土づくりに力を入れるあまりに、
農薬も化学肥料も一切使わずにブランドれんこんを栽培できるまでに、
土づくりかられんこん栽培の技術は、本物になっています。
その結果、生産者さまからは『農薬も化学肥料不使用の栽培』と表現するのではなく、
『土づくりの結果、農薬も化学肥料も使わなくてよかったれんこんだ！』と
表現してくれるように。と言われているそうです。

その他にも、One さんの栽培には給水にも特殊な装置を使っており、
その装置は水の中でも浮いてこれないほどの、
非常に小さな酸素を水に含ませる装置になります。
水から浮いてこれないコトが重要なポイントになっています。

水中や土中にいる微生物たちは、この酸素豊富な水により、
非常に活発な行動をするようになるそうです。
その証拠に、れんこん畑ではよくある被害として、
ザリガニによるれんこんの茎や葉が食べられてしまい、
れんこんそのものの成長が妨げられてしまうということが多々あります。

しかし、微生物が活発である圃場でのザリガニは、れんこんの茎や葉を食べるよりも
豊富に存在している微生物が美味しいようで、
そのような被害はほとんど見受けられないそうです。
確かに見学した際には、ザリガニはたくさん居たが、

その被害を受けているであろうれんこんは、見つけれませんでした。

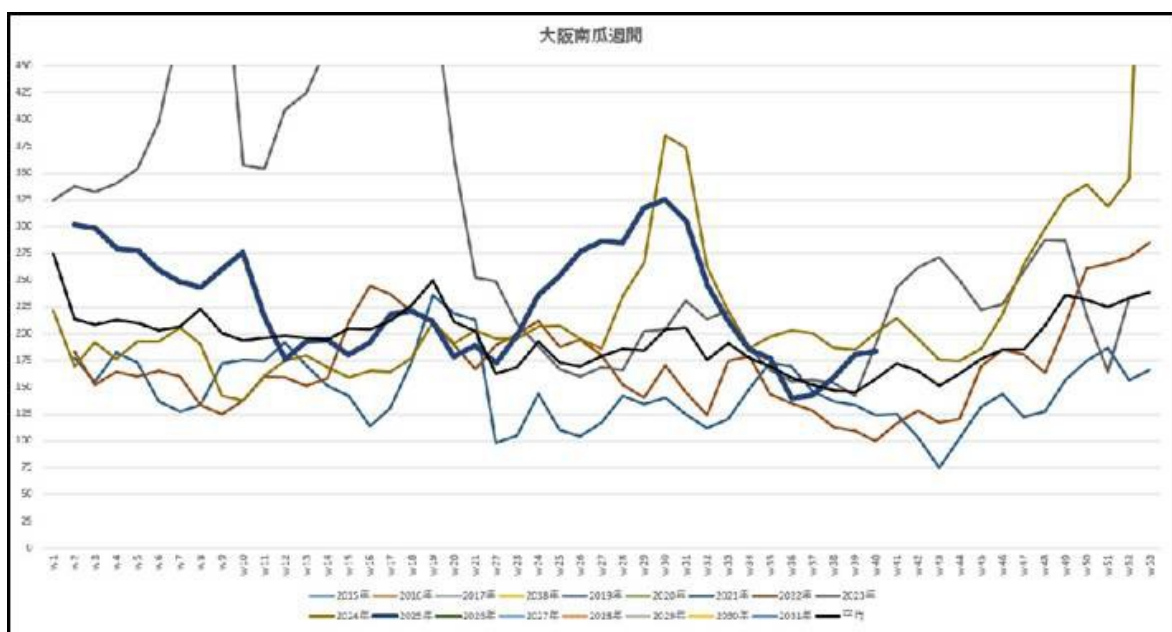
裏話としては・・・

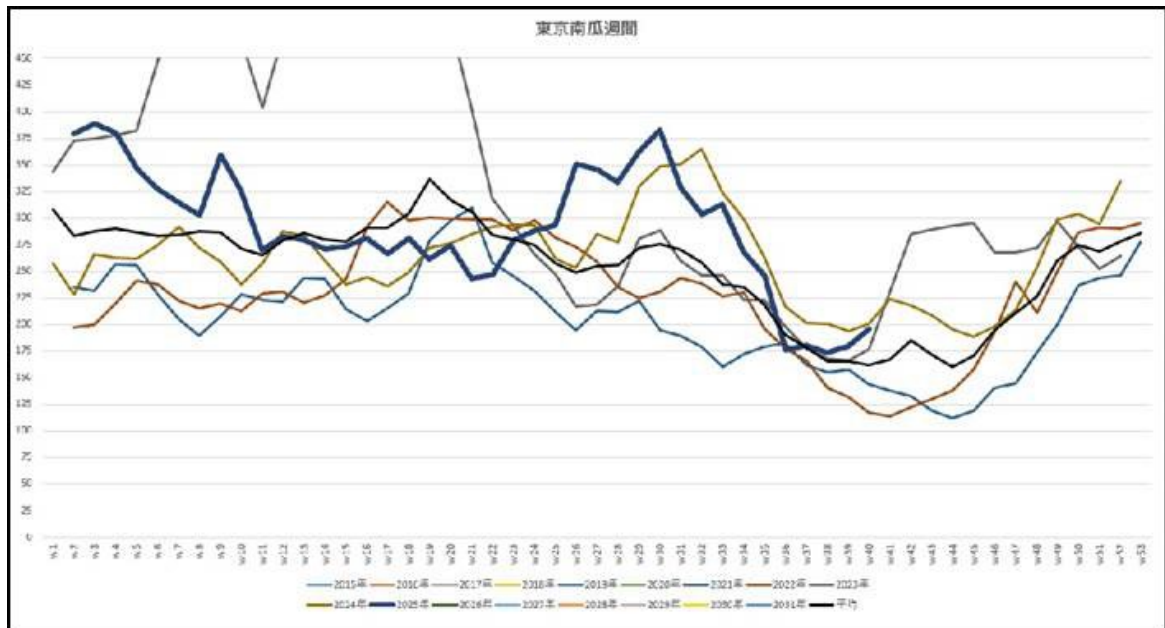
そのザリガニを捕食対象としている鳥さんたちが、
荷物置き場の屋根の上で食べ散らかしてしまうため、
毎年食べカスで大変なことになっているそうです。

こうした努力経験から試行錯誤し、そこに文明の利器を適時活用することで、
ブランドに頼りことではない、
特別な価格を超える価値を作りだせるポイントになると思います。

取扱期間は年明け 3 月下旬ころまでの長丁場となっておりますので、
冬至や年末年始といった、需要期にもこの加賀美人れんこんは確保できております。

・じわりじわりと上がっていきそうな南瓜。(吉田麻衣)



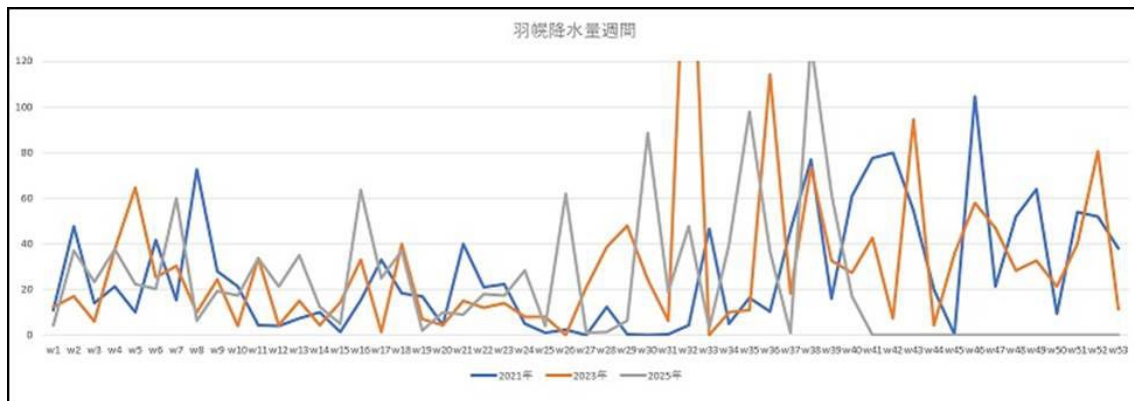


灰色が 2023 年、黄土色が 2024 年のデータなのですが、
2023 年前半が振り切れている為上の方はちょん切って
もうちょっと見やすいように加工したものがこちらのグラフになります。

8 月末ごろに弊社の営業から南瓜の話をさせて頂いたときは、
相場がべたべただからいらないと断られたようですが、
今はじわりじわりと上げていっています。

大阪は過去 3 番目、東京は過去 2 番目の価格帯
(見えてないですが 2016 年はもっと高かったなので実はそれぞれ 3 番目と 4 番目)。

茶色と水色は 2021 年と 2022 年で、この二つは 10 月中旬まで
下がっていき、そこから上がっていっていますが、
2025 年はこのタイミングで上がっているの 2023 年のパターンか 2024 年の
どちらかのパターンになるにしても上がるのが早いか遅いかの違いになりそうです。



こちらは苫前町に近い羽幌の週間の降水量を表すグラフです。

今年は小玉が多いということなので原因となる降水量をチェックしました。

Chatgpt 大先生によると北海道の南瓜が雨が欲しいのが7月上旬から下旬の間、これは収穫時期が8月中旬から9月とした場合。

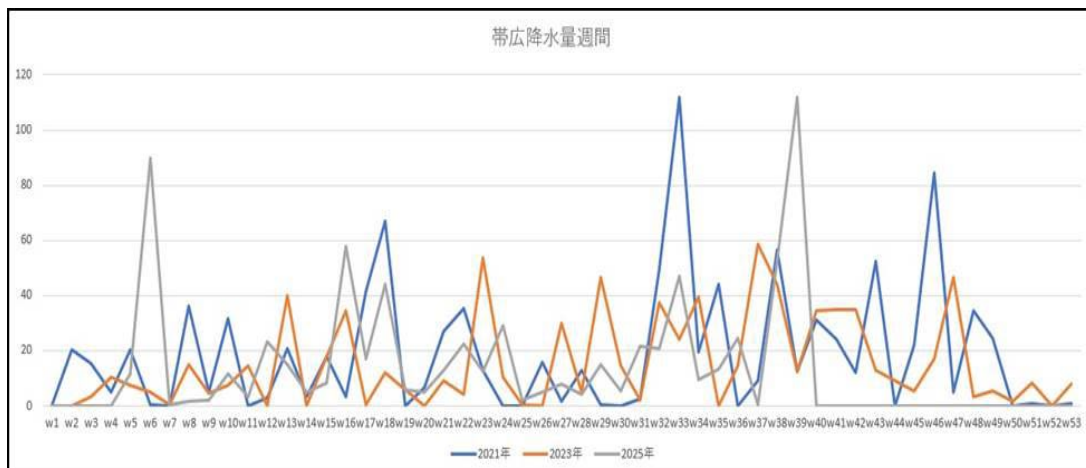
早い南瓜は8月の上旬中旬くらいには収穫が始まるので

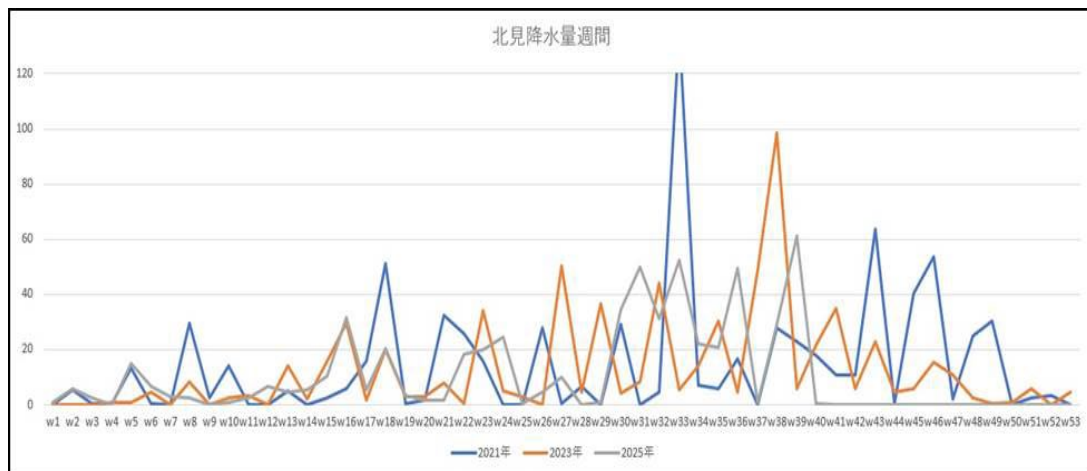
7月上旬の雨が重要になります。

状況が一番ひどかった2021年で8玉率が非常に高かったのは、完全に水不足。

2025年は7月上旬のw27、w28が水不足。

w30にざばーっと降ったみたいですが、十分に成長するには時間がなかったみたいです。





ちなみに帯広と北見の降水量のグラフがこちらになります。

そろって雨が不足しているのわかるかと思います。

7月末から8月上旬にはようやく雨が降ってきたので、

北海道産の後半の南瓜は玉サイズ多少は期待できるかもしれません。

今週より北海道の気温が軒並み低下しているので、

後半心配といえばちょっと心配ではあります。

昨年も似たような気温なので大丈夫といえば大丈夫。

2025年12月22日 冬至用南瓜 予約発注書					送付日：			
								
		栗かぼちゃ ほろほろ						
				ALPHA 株式会社アルファ TEL: 072-694-8481 FAX: 072-694-				
お名前	様			御希望着日				
栽培内容	商品名	規格	予約発注日	価格	12/	12/	12/	12/
概要表示	北海道 和田農園 栗かぼちゃ【ほろほろ】	4-7玉	～11/15予約受注	4,350円				
			11/16～通常発注 定価受注価格	5,000円				
		8玉	～11/15予約受注	3,600円				
			11/16～通常発注 定価受注価格	4,000円				
※予約数量が産地量にオーバーした場合は、受注先着順								

こちら今年の冬至用の南瓜の発注書になります。

先週の発注書に載せられていなかったのを、

本日配信の発注書より別シートにて添付させていただきます。

商品名に記載の通り、和田農園様の栗南瓜・ほろほろになります。

和田農園様は帯広なので、無限樹様の苫前よりも若干暖かいので、

寒さによる不安材料は多少は緩和されています。

味は昨年一昨年食べて全く問題がなく、

この時期の北海道できちんとしたものがお届けできると思います。

・『 青いレモンの島 』から、

愛媛県岩城島産 岡野さんの瀬戸内レモン のお届けです。(販促部：生島 麻亜子)



岡野さんの畑には、ニワトリがいます。

それも囲いに入れられているのではなく、

自由に動きまわっているという、なんともユニークなところですよ。

ただし、これは放し飼いされているだけではなく、

雑草を食べてもらうために放しているのです。

柑橘栽培では、一般的には除草剤をよく使用されるのですが、

このニワトリたちのおかげで除草剤を使わずとも、

栄養がレモンの樹の方に行き渡ります。

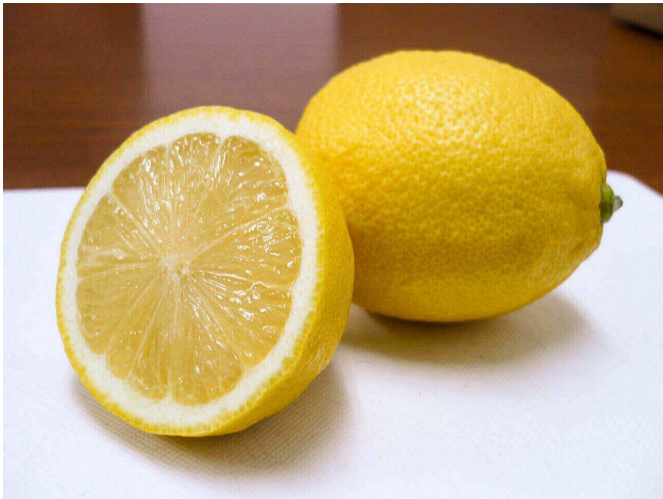
提出して頂いている栽培履歴の除草方法の欄に、

『ニワトリ』と書かれているのを見ると、

頑張っている所が想像できて微笑ましいですね。

そして、このニワトリたちは岡野さんのレモンが大好きなようで、
レモンを輪切りにしてあげると美味しそうに果肉をつつくのだそうです！

そんな、ニワトリも大好きな『愛媛県岩城島産 岡野さんの瀬戸内レモン』は、
商品名にもある通り、愛媛県の岩城島という所で栽培されています。
岩城島は『青いレモンの島』という名前が付けられるほど、
全国的にも美味しいレモンの産地です。
年間を通して比較的温暖で穏やかな気候と、
降水量の少なさという瀬戸内海特有の気候が、レモン栽培の適地となっている理由です。



美味しいレモンが育つ土地な上、
岡野さんのレモンは
果肉がみっちり詰まり、
締まっていて、
断面が盛り上がり見えるほど、
粒ひとつひとつに張りがあります。

本当は実物を見て頂いた方がわかりやすいのですが、
写真の果肉と白い部分の境目をご覧ください。
この見た目だけでも、商品力のあるレモンだとわかって頂けることでしょう。

味の種類としては、酸味がキリッと鋭く、マイヤーなどに比べると
The・レモンのような味わいで、果肉は柔らかくジューシーで香りも爽やか。

しかし、ただ酸っぱいだけではなく、レモン自体の味が濃く感じられるのが特徴です。

ニワトリたちも虜にしている『愛媛県岩城島産 岡野さんの瀬戸内レモン』。

何卒お取り扱いの程宜しくお願い致します。

・熊本県産 特別栽培 吉田さんのレモン【璃の香・マイヤー】の違い

(販促部:吉田紗知子)



吉田さんのレモンは、
現在 2 種類が登場中です。

純粋なレモン…というよりは、

【璃の香】 レモン×日向夏

【マイヤー】 レモン×オレンジ

のように、

レモン以外の他の柑橘も
親にもっている両品種。

ですので、

レモンの酸味だけでなく、
甘みやまろやかさ という

親からの良い特徴をもっています。

果汁が多い璃の香にするか、果肉感・まろやかさを持つマイヤーにするか。

固定で買い続けるというよりも、どう調理に使いたいかで日々選びたい両種だと思います。

又、表面の色が まだ緑色の個体が多くみられる今の時期。

緑だからと言って、未熟＝酸っぱすぎる・甘くない ではありませんので、

安心して販売いただければと思います。

・松茸情報 10月2日現在

● 中国産 産地状況

産地の数は、予想通り減りました。

大きい産地は、終了。

小さい産地が出ていますが、全体で3トンも無く、新鮮なものは少ないです。

産地全体で3トン、まだ産地に貯蔵の物もあるのですが、品質は、悪く使えません。

日本の輸入も減っており、入荷の半分近くが貯蔵物なので、

生鮮で販売できるものは少ないです。

連休向けて、新しい産地が中心なので、開きは一旦減ります。

中国は、連休前後で、量販から業務関係に移行していきそうです。

期待していた、吉林も不作で、一部北朝鮮が、中国に入っていますが、

量は少ないです。

● 北米産 産地状況

カナダは、次の産地が出る気配はなく、引き続きテラスですが、下等級とLばかりです。

今年もこのまま終わりそうな気配ですが、そうであれば2年続きでの不作になりそうです。

アメリカは、1等Mが増えてはきましたので悪い傾向ではありません。

しかし、全体量は、微増の為、

アメリカ国内の需要、それと日本側の需要も中国の高値とカナダの減で集中して、

しばらくは高値で推移しそうです。

アメリカが、増えてこないこの状況は、変わりません。

早く出てくることを日々チェックしていきます。

● 日本市場

国産の松茸が、出てきたことで、産地問屋、料理屋、旅館の需要も活発になってきました。

その流れで、中国は良いものの中心に更に上がっていきます。

中国は、業務関係、量販は、アメリカと例年通り切り替わる時期ですが、アメリカが少なすぎて、このままでは、うまく切り替えられません。

増える可能性があるのは、アメリカですので、それを待つしかありません。

● 今後の動き

全国的に販売は、活発になってきました。

先が見えない状況が続きますので、ご注意ください。

北米の状況次第で価格も上にも下にも予想されます。

日々確認していきます、BEST を尽くしますので引き続きよろしくお願いいたします。

(株)パシフィックコーポレーション 社長:彦坂嘉男)

・今週の成分測定レポート (吉田紗知子)

■ 岐阜県産 加藤さん 清見とまと

測定日	産地・生産者・品名	1玉の重量	硝酸態窒素濃度	糖度
			ppm	度
2025/10/2	岐阜県産 加藤さん 清見とまと(麗月)	121.4g	検知せず	5.3



岐阜県・加藤さんの清見とまとを測定しました。

前は、

2025/6/27 に測定を行っています。

【糖度】 5.1 度 → 5.3 度

少しですが、数値が上がる結果となっています。

例年に比べて、
今年は糖度が少し控えめな数値となりました。

■ 岐阜県産 谷下農園さん トマト

測定日	産地・生産者・品名	1 玉の重量	硝酸態窒素濃度	糖度
			ppm	度
2025/10/2	岐阜県産 谷下農園さん とまと(麗月)	141.4g	検知せず	6.6



岐阜県・谷下さんのとまと を測定しました。
前回は、2025/7/24 に測定を行っています。

【糖度】 6.2 度→ 6.6 度

少しですが、数値が上がる結果となりました。
谷下さんのとまとは、

過去数値も 6 度と、高いとまとです。

・今週の栽培履歴調査報告 (中澤佐江子・中澤和大)

鹿児島県産 糖蜜安納芋

品目 サツマイモ

品種 安納紅

栽培概要

生産者 (株) エス・ワールド種子島 夢百姓

住 所 鹿児島県熊毛郡中種子町野間 15083

連絡先 0997-28-3365

節減対象農薬 6 回 当地比 5 割減

化学肥料(窒素成分) 1.56kg 当地比 6 割減

■台帳 NO.3435

生産者 全 15 名 (昨年 23 名 1 昨年 46 名)

栽培面積 1,100a (昨年 3,500a、1 昨年 4,500a)

予想反収 1,200kg/10a (昨年 1,500kg/10a)

収穫期間 2025/8/26 ~ 12/5 頃

ネオニコチノイド農薬使用なし

昨年、高齢化で縮小、若手育成中との話でしたが、更に減少しています。

■昨年との比較

肥料の窒素量も農薬回数も、昨年と同じでした。

■今季の作柄

天候の影響や、作物の病気等 : 5 段階 : 3 順調

収穫の時期 : 3 段階 : 3 遅い

実の大きさ : 3 段階 : 2 例年並み

(2025/9/25 現在)

コメント : 今年は苗の成長が遅く、1 週間~2 週間程度植え付け時期が後ろにずれましたため

収穫時期もずれて全体的に収穫は遅れ傾向です。

収穫量としては、今のところ平年並みです。

病気の状況、特に基腐病(もとぐされびょう)の発生は去年と比較しても発生はほとんど見受けられません。

(雨や台風が少なかったからと思われます)

.....

長崎県産 特別栽培 なんぶいんげん

品目 インゲン

品種 サーベル、スーパーステイヤー、江戸川

特別栽培農産物

栽培責任者 金井 圭司

住 所 長崎県南島原市北有馬町戊 2465-1

連 絡 先 0957-84-3393

確認責任者 ながさき南部生産組合 中村 大介

住 所 長崎県南島原市北有馬町戊 2465-1

連 絡 先 0957-84-3393

■計画

節減対象農薬 5 回 当地比 5 割減

化学肥料（窒素成分） 10kg 当地比 5 割減

■実績表示

節減対象農薬 1 回 当地比 5 割減

化学肥料（窒素成分） 0.0kg 当地比 5 割減

(2025/9/12 現在)

■台帳 NO.3438

生産者 金井 圭司 他 6 名

栽培面積 78a (前年 80.0a)

予想反収 640kg/10a 今年度予測 5000kg 全年度実績 3560kg

収穫期間 2025/10/20 ～ 12/下旬

ネオニコチノイド農薬使用なし*

■2025 年春インゲンの最終実績調査

台帳 NO.3380

以下は最終で上がってきた履歴を集計した内容です。

生産者	品種	圃場名	作付面積	播種開始	定植開始	収穫開始	収穫終了	慣行	窒素量	削減	慣行	節減農業	削減
高橋和秀	ステイヤー	2-1	4	2月21日				14	0	不使用	8	1	8
高橋和秀	ステイヤー	2-2	4	3月2日				14	0	不使用	8	0	不使用
金井圭司	サーベル	17-1	3	3月27日				14	0	不使用	8	1	8
金井圭司		17-2	1.5	4月14日				14	0	不使用	8	1	8
金井圭司	サーベル	17-2B	1.5	4月15日				14	0	不使用	8	1	8
中村忠保		10-5-3	1.5	4月3日		6月5日	6月24日	14	0	不使用	8	3	6
中村忠保		10-2	1.5		4月7日	6月12日	6月27日	14	0	不使用	8	3	6
中村忠保		10-2B	1.5		4月18日		6月27日	14	0	不使用	8	1	8
岩永政信	ステイヤー	10	2	4月20日		6月25日		14	0	不使用	8	3	6
岩永政信	江戸川	10	2	4月25日		6月25日		14	0	不使用	8	3	6

合計 / カウント	列ラベル								
	⊖ 岩永政信		⊖ 金井圭司			⊖ 高橋和秀	⊖ 中村忠保		
行ラベル	10ステイヤー	10江戸川	17-1	17-2	17-2B	2-1	10-2	10-2B	10-5-3
⊖ 殺虫	3	3	1	1	1	1	2	1	2
エマメクチン安息香酸塩						1			
クロラントラニリプロール	1	1							
フェンピロキシメート	1	1	1	1	1		1		1
フルキサメタミド	1	1					1	1	1
⊖ 殺菌							1		1
ベンチオビラド							1		1
総計	3	3	1	1	1	1	3	1	3

化成肥料(窒素成分)は、すべて 0.0kg でした。

■ 今季の作柄

今年は線状降水帯の影響で短時間に大雨が降ることが何度もあり、その影響で、畑が水につきり、蒔いた種が駄目になることがあり、収穫時期が遅れております。

9月の大雨の後に畑を回った際は病気など出ておりませんでした。

山の中に畑を作られている生産者さんから猪などの食害が出ているとの事でした。

昨年は10月も高温が続き収量を落としましたが、

個人的に昨年よりも過ごしやすく感じており、

今後の生育的には順調になるのではと思っております。

実の大きさとしては、今期初収穫された生産者のものを確認しましたが、

例年通りと思われます。

天候の影響や、作物の病気等 : 5 段階 : 2 やや悪い

実の大きさ : 3 段階 : 2 例年並み

.....

奈良県産 萩本さんの刀根柿

品目 カキ

品種 刀根早生

栽培概要

生産者 萩本 賢一

住所 奈良県吉野郡西吉野村奥谷 438

連絡先 0747-34-0859

節減対象農薬 9 回 当地比 4 割減

化学肥料（窒素成分） 栽培期間中 不使用

■台帳 NO.3436

栽培面積 150a （昨年 120a）

予想反収 3,000kg （昨年 4,000kg/10a）

収穫期間 2025/9/27～ 10/20

ネオニコチノイド農薬使用あり

■今作の作柄について

干ばつの影響で前半は小玉傾向ですが、今の所は順調との事です。

.....

愛媛県産 岡野さんの瀬戸内レモン

品目 レモン

品種 アレンユーレカ

栽培概要

生産者 岡野 英明

住 所 愛媛県越智郡上島町岩城 4832

節減対象農薬 11 回 当地比 2 割減

化学肥料（窒素成分） 20.9kg 当地比 4 割減

■台帳 NO.3439

栽培面積 25a（小漕圃場 17a、赤石圃場 7a 昨年と同じ）

予想反収 3,000kg/10a（昨年 2,500kg/10a）

収穫期間 2025/9/23 ～ 2026/4/30

ネオニコチノイド農薬使用有り

■昨年との比較

農薬は 1 回多くなりましたが、削減率は同じです。

圃場別に散布農薬が 1 回分違いますが、回数は同じです。

肥料は、全く同じ内容です。

■作柄について

量は昨年より出来ています。

去年が少なかったので、表年になります。

ダニが多くわいて、防除に苦労しています。

大きさは例年並みです。

.....

兵庫県産 森下さんの黒枝豆

品目 エダマメ

品種 丹波黒大豆

栽培概要

栽培責任者 鴨谷 晃輝

住 所 兵庫県朝来市岩津 235-2

節減対象農薬 8 回 当地比 4 割減

化学肥料（窒素成分） 栽培期間中 不使用

■台帳 NO.3437

栽培面積 286a

栽培本数 1800 本/10a

予想反収 300～500kg

収穫期間 2025/10/8～ 11/10

ネオニコチノイド農薬使用あり

■初めての取り扱い

来年から、特裁で栽培するという事です。

今月 10 月に会社を立ち上げたという事です。

生産者 3 名、森下省吾さん、津村子の鴨谷晃輝さんともう 1 名。

今回頂いた栽培台帳は圃場別で 5 冊で、すべて鴨谷晃輝さんの栽培で、内容は同じになっていました。

鴨谷晃輝さんにとって枝豆栽培は 5 年目。

AGRI CREW としては 2 年目だそうです。

■今季の作柄

天候の影響や、作物の病虫害等： 5 段階 ： 順調 3

収穫の時期 ： 3 段階 ： 2 普通

実の大きさ： 3 段階 ： 2 例年並み

コメント：

こだわっている点は土壌診断に基づいて、ミネラル補給を鶏糞、
その他(台帳では苦土石灰、BM ようりん)で賄っている。

（化成窒素はゼロ。）

BLOF 理論(小祝氏提唱)で、植物生理にあわせた栽培を心掛けています。

・新登場

愛媛県産 岡野さんの瀬戸内レモン

・商品案内変更

北海道産 和田農園・メークイン・・・在庫僅少

宮崎県産 特別栽培 大葉・誠の香り・・・数量調整有

熊本県産 特別栽培 吉田さんのみかん・肥のあけぼの・・・規格毎の価格変更

北海道産 特別栽培 無限樹のミニトマト・キャロル 10・・・数量調整有

鹿児島産 高橋さんの赤土里芋・大・・・数量限定案内

岐阜県産 有機栽培 谷下さんの Organic トマト・・・日によって数量調整の可能性あり

熊本県産 特別栽培 吉田さんのレモン・りのか・・・在庫僅少

・終了

北海道産 特別栽培 渡邊さんのミニトマト

宮崎県産 竹下さんの土付きごぼう

徳島県産 特別栽培 佐々木さんの梨

・10月新登場予定

長崎県産 特別栽培 なんぶいんげん・・・w43 より新登場予定

高知県産 とさいずまとまと・・・w43 より新登場予定

高知県産 特別栽培 明神さんの満天里芋・・・w43 より新登場予定

奈良県産 特別栽培 益田さんのもものすけかぶ・・・w43 より新登場予定

それでは、今週も御発注のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

有限会社アルファー

吉田清一郎